

AKB シングル選抜総選挙の構造と得票予想 その保守性と頑健性

矢野 環^{†1}

AKB のシングル選抜総選挙は、今や6月の恒例行事となっている。メンバーの得票数を予想する様々な試みがなされている。講演者の方法は、2011,2012年度上位16名、かつ20名の顔ぶれを的中させ、また2013年では16名中15名が的中であった。また、2012,2013ともに上位3名は順序を含めて的中である。このようなシステムを考察する場合、特殊な分析手法をあれこれ使うよりも、データそのものをよく見るのが有効である、という良い例にもなっているのである。また、対象をよく知ることも重要である。それらを考慮した、実際の方法について解説する。

Structure of an AKB single selection general election, and vote tally prediction

- The conservativeness and robustness -

TAMAKI YANO^{†1}

Nowadays, the single selection general election of AKB serves as a routine occurrence in June. Various trials which expect a member's number of votes obtained are made. The lecturer's method made 16 and 20 persons' higher rank lineup guess right in the 2011-2012 fiscal year, and 15 persons were hits among 16 persons in 2013. Moreover, top three persons are hits, including the order in 2012-2013.

When considering such a system, it is more effective to see the data itself than using specialized analytical method.

1. プロローグ

二〇一三年、六月八日、その日、横浜の日産スタジアムは、約七万人ものファンによって埋め尽くされていた。さらに、スタジアムの特設ひな壇には、二百数十名の女性アイドルたちが居並び、これから発表される自分たちの順位を、さまざまな思いで待っていた。AKB 48選抜総選挙、この年五回目を迎えたこのイベントは、今や国民的女性アイドルグループとなったAKB 48の恒例行事として、多くの人々の注目を集めていた。

AKB 48の選抜総選挙は、昨年からの方式では、投票結果一位から六十四位までのメンバーが、票数とともに発表される。それ以下のメンバーは、順位も票数も発表されない。だから、六十五位以下のメンバーは、選抜されない「非選抜メンバー」ということになる。

この年の総選挙は、一位連覇を期す大島優子と、速報で一位の指原莉乃のどちらが最終的に一位となるのかの緊張感がものすごかった。しかもそれは、順位の発表が進むほどに大きくなっていった。そうして、二位の発表になった時、その緊張感はピークに達した。なぜなら、この時点で残っている有力メンバーは大島優子と指原莉乃だけだったので、二位が発表された瞬間、一位が誰かということも確定するからだ。

そうして、二位は大島優子と発表された。その瞬間、指原莉乃が一位であることが確定したのだった。

<『非選抜アイドル』[1]序章を今年度向きに改変した>

2. AKBグループ、総選挙

現象の分析には、対象の正しい理解が必要である。そこで、AKBに関する基本的な事項をまず確認する。

2.1 AKB48と姉妹グループ

AKB48は、2005年に結成され、現在も拡大展開中の女性アイドルグループである。専用劇場を持ち、ダンスを伴った歌の公演を行う。すべての楽曲^{†2}は秋元康総合プロデューサーの作詞による。さらに、姉妹グループが名古屋、大阪、博多にある。また解散したSDN48があった。姉妹グループの設置年と名称、専用劇場の所在地は次の通り。

2005 AKB48 秋葉原ドン・キホーテ 8F

2008 SKE48 名古屋栄 サンシャイン栄 2F

2009 SDN48 AKB48劇場を使用。当初観客に年齢制限

2010 NMB48 大阪難波 なんばグランド花月向かい

2011 HKT48 福岡 ホークスタウンモール 2F

海外ではインドネシアと中国に姉妹グループがある。

2011 JKT48 ジャカルタ、2012 SNH48 上海

これらの国内や国外の姉妹グループをあわせてAKBと総称されることも多い。

なお、AKBグループとは異なり、劇場を持たず、ソニー・ミュージックの傘下にあるが、秋元康がプロデュースする「乃木坂46」が2011年に結成された。AKBの「公式ライブ」とされている。

かつての歌謡アイドルグループは、TV番組により知名度を上げていった。そしてアイドルは容易に近づけない存在であった。これに対してAKBグループは、専用劇場で公演を行うことを基本としている。さらに、握手会のシステムも加え、「会いにいけるアイドル」をモットーとしてい

^{†1} 同志社大学文化情報学部
Faculty of Culture and Science, Doshisha University

^{†2} 特別な例外を除く

る。ただし、グループを知らしめるには TV 番組は重要な役割を果たしている。8 月には 250 回を迎える「AKBINGO」はその代表であり、昨今最も勢いがある HKT48 についても、HKT に移籍した指原莉乃が MC を務めた「HaKaTa 百貨店 (同 2)」が重要な役割を果たしたと思われる。

AKB グループの構成としては、グループ名から一文字を取った 16~22 名のチーム単位で活動する。国内はそれぞれ、A・K・B、S・KII・E、N・M・BII、H となっている。この個別名を持つチームの構成員を「正規メンバー」と呼ぶ。正規メンバーの代理で公演に出るなどの役目を担う予備軍として「研究生」があり、その集合をまた「チーム研究生」と呼び、その単位で公演を行う。研究生から正規メンバーになることを「昇格」、その逆を「降格」と呼ぶ。メンバーは篠田麻里子を唯一の例外として、他はオーディションで選ばれており、その時期によって、四期生等と呼ぶ。グループ活動を辞めることには幾つかの表現がある。通常は「卒業」と呼び、劇場での最終公演、あるいは他のコンサートでセレモニーが行われる。自ら「辞退」することもあり、不祥事による「解雇」もある。さらに一時的な「謹慎」とそれからの「復帰」がある。事例は末尾の付表参照。

楽曲を中心になって踊り歌うメンバーを(その曲の)「センター」と呼ぶ。また各チームにおいて主にセンターを務めるメンバーは「チームのセンター」である。かつて AKB の楽曲は基本的に前田敦子がセンターを務めた。SKE は設立時から松井珠理奈が不動のセンターである。楽曲でセンターと並んで、あるいは少し後ろの前面の目立つ位置に配置されたメンバーを「フロントメンバー」と呼ぶ。衣装が他と異なる場合も多い。何らかの順位に従って配列される場合には、1・2・3 位をそれぞれ中央・向かって右・向かって左に置くのが基本であるが、例外もある。乃木坂 46 の場合はフロントメンバーを「八福神」と呼ぶ。

AKB グループでは AKB の楽曲に姉妹グループのメンバーが参加することがある。SKE の松井珠理奈*、松井玲奈、NMB の山本彩、渡辺美優紀*、HKT の兒玉遥*、宮脇咲良などが代表的であり、肩に*を付けたメンバーは AKB のチームと兼任している。

AKB の楽曲で姉妹グループのメンバーが単独センターを務めたのは、10th シングル「大声ダイヤモンド」の松井珠理奈 (SKE) と、今回の 32th シングル「恋のフォーチュン・クッキー」の指原莉乃 (HKT) のみである。特に「大声」はキングレコード移籍第一号であり、AKB が全国的に認められる契機となった曲であるとされ、重要である。そのジャケットは異例であり、著名な通常版ジャケットでは松井珠理奈 (当時 11 歳。小学校六年) 一人が何かを叫んでいる (図 1 左。実は「まりこ様～」と叫んでいる)。劇場盤も珠理奈一人である (図 1 右)。松井珠理奈は、この AKB システムが生み出した最高、最大級の逸物である。

(図 1,4-6 は所蔵する現物を出典明記にてスキャンした。)



図 1 大声ダイヤモンド 通常版 (左) と劇場版 (右)

2.2 楽曲と選抜. 総選挙

AKB グループでは、シングル曲を歌うメンバーをその都度決定する。方法は 3 つある。

- (1) 運営側で決定して指名する。
- (2) 選抜総選挙の順位に従う
- (3) 選抜じゃんけん大会の順位に従う。

当初は (1) のみで行われていた。また選抜ではないメンバーから、アンダーガールズを選ぶこともあった。これに対して、ファンの要望を受け、かつ営業上のメリットも考慮して 2009 年の 7 月 (翌年からは 6 月) から、年に一度選抜総選挙が行われる。メンバーは選挙風のポスターを作成し、また YouTube に公開される政見放送でアピールを行う。この政見放送の再生回数はファンが興味をもっている程度があらわれる。投票権はいくつかの方法で入手できる。2013 年でいえば、次の通り。

- 1) AKB48 ファンクラブ「二本柱」の会 会員
- 2) AKB,SKE,NMB,HKT 48 Mobile 会員
- 3) AKB48 公式スマートフォン会員 (iOS)
- 4) AKB,SKE,NMB,HKT Live!! on Demand 月額見放題会員
- 5) AKB オフィシャル NET 会員
- 6) 31st 通常版/劇場盤 CD 封入 投票シリアルナンバー

当初から、直前の通常版 CD に封入した投票シリアルナンバーを得ることが標準的な投票方法であった。そして 2013 年からは、劇場盤にも投票権が付くようになった。

劇場盤は、10th 大声ダイヤモンド からできた盤であり、当初劇場の売店で売られており、劇場での個別握手会に参加できる券が封入されていた。即ち、個別握手会での握手の相手を事前に決めた上で購入するものである。通常盤に封入されている握手券は、全国握手会などで、その会場において、だれと握手をするか決めることができる。個別握手会も大きな会場で行われるようになり、劇場盤を特定のオンラインショップで購入するようになって、かつての名称「劇場盤」はそのまま残され、ファンはその差異を握手会の種別という観点において理解していた。複数の投票を行うには、複数枚 CD を購入すればよい。

またこれまでは研究生を含む現役全メンバーが自動的に被選挙権を持ったが、今年度からは立候補制となった。さらに、過去に 4 年間以上メンバーであった OG も立候補で

きることとなり、平嶋・野呂・浦野・大堀・小野春・佐藤由6名が立候補した。結局総勢は246名であった。

総選挙で当選となる人数は5回で30=21+9, 40=21+19, 40, 64=16×4, 64と増加した。但し、主たる曲を担当する選抜メンバーは、当初3回は21人であったが、その後16人となった。その次のランクがアンダーガールズ(9,19,19,16,16)とされ、CDでのカップリング曲を歌う。

「大声ダイヤモンド」以降のシングル初日、初週売上(万枚)を表1に、5回の総選挙での諸種の票数を表2にまとめた。指原とは後述する32thシングル総選挙1位の、指原莉乃であり、今回最も注目を集めた。シングル初動と、総選挙での1位と指原の得票(千票単位)を一つのグラフにすると図2の通りである。この「大声」から「上からマリコ」までの時期のシングルは、AKB,SKE(とSDNの「GAGAGA」)すべて牧野安娜の振り付けである。

このデータからいえば、投票権封入のCD初日から初週売上のおよそ1/10が総選挙の1位の得票数であることがわかる。4回までは、総投票数が初日と初週の間である。このように、前田敦子、大島優子、松井珠理奈などがセンターを務めてきたAKBシングルにおいて、総選挙を導入したが、上位メンバーが比較的安定しているの、偶然性を取り入れるために「じゃんけん大会」も企画されている。但し、今年度の総選挙は、昨年AKBからHKTに移籍した指原莉乃の活躍がめざましく、様々な波紋をよんだ。

表1 AKBシングル初動(初日,初週)売上万枚
 網掛け(黄色)は総選挙で選抜が選ばれる楽曲

シングル	初日	初週	累積
2008/10/22 10th 大声ダイヤモンド	0.7	4.8	
2009/3/4 11th 10年桜	2.9	6.6	12.5
2009/6/24 12th 涙サプライズ!	4.1	10.4	14.6
2009/6/24 13th 言い訳Maybe	5.7	9.1	14.6
2009/10/20 14th RIVER	8.8	17.9	26.1
2010/2/16 15th 桜の葉	23	31.8	40.5
2010/5/25 16th ポニーテールとシュシュ	35.4	51.3	74
2010/8/17 17th ヘビーローテーション	34	52.7	88.1
2010/10/26 18th Beginner	56.8	82.7	108.2
2010/12/7 19th チャンスの順番	47.1	59.7	69.4
2011/2/15 20th 桜の木になろう	65.5	94.2	104
2011/5/24 21st Everyday、カチューシャ	94.2	133.4	160.8
2011/8/23 22nd フライングゲット	102.6	135.4	162.6
2011/10/25 23rd 風は吹いている	104.6	130	145.7
2011/12/6 24th 上からマリコ	95.9	119.9	130.5
2012/2/14 25th GIVE ME FIVE	96.7	128.7	143.7
2012/5/23 26th 真夏のSounds good!	117.1	161.7	182.2
2012/8/29 27th ギンガムチェック	90.7	118.2	131.4
2012/10/31 28th UZA	88.5	112.9	125.6
2012/12/5 29th 永遠プレッシャー	84	107.3	119.6
2013/2/20 30th So long!	81.8	103.6	
2013/5/22 31st さよならクロール	145.1	176.3	187.2
2013/8/21 32nd 恋するフォーチュンクッキー			

表2 選抜総選挙 指原と1位(センター)の得票数

当選/総数	指原	1位	1位票	指原票	総票数
2009.7 21+9/98	27	前田	4,630	1,170	未集計
2010.6 21+19/104	19	大島	31,448	6,704	380,000
2011.6 21+19/150	9	前田	139,892	45,227	1,166,145
2012.6 16×4/237	4	大島	108,837	67,339	1,384,122
2013.6 16×4/246	1位	指原	150,570	150,570	2,646,847

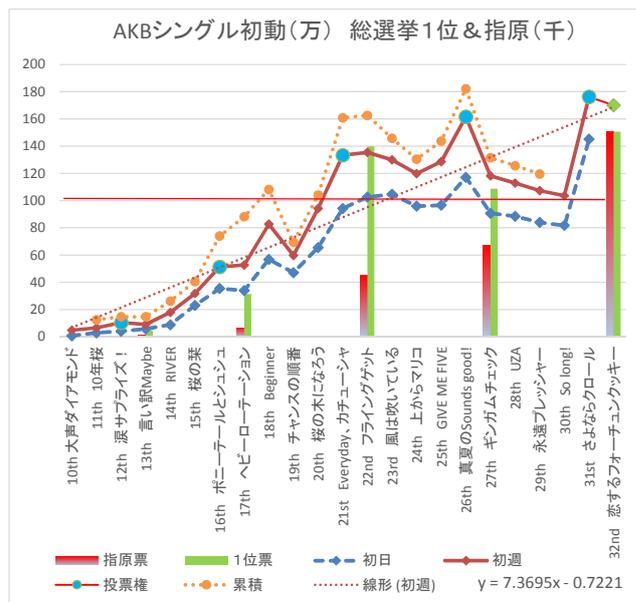


図2 シングル売り上げと総選挙得票数の推移

3. 総選挙

3.1 速報と最終。一倍率

選抜総選挙では、投票開始日の分のみの集計が「速報」として発表され、最終得票は広い会場において、メンバーを集めた上で発表される。今年度は横浜・日産スタジアムにおいて7万人の観衆のもとでライブの後に行われた。

速報は最終得票を予想するにあたって大変重要なものである。一日で投票サイトに入力できるかぎり入力するには、ファン同士の綿密な打合せが行われることもある。実際、2chやtwitterに「<誰々>選挙対策」のアカウントがしばしば設定される。必ずしも広く知られていないメンバーを世間に知らしめるには「速報」で名前を出すのが極めて効果的であり、今年度は「柴田阿弥」が注目を集めた。

2012年度には速報30位に研究生「武藤十夢」の名が出た。その美形と「田野ちゃんのお守り役」、即ち田野優花の親密な友人として、さらに回文の名前などでファンの間ですらわずかに知られているに過ぎないメンバーの名は、本人を含めて驚きをもって迎えられた。最終結果では49位に下がったものの、フューチャーガールズのセンターであり、発表時の水色のドレス姿は「清冽な湧水」の透明感を伴い、聴衆に深く印象を残した。その後、指原莉乃のアンダーをしていたが、指原はHKTに移籍となり、チームAに馴染むことと成る。後に昇格してチームK所属となった。大学生メンバーとして活躍中である。総選挙での得票は、「自分への<期待値>だと思う」と表明している。

総選挙においてメンバーの人気度をみるためには、様々なデータがある。その詳細は後に検討するとして、ここで一つの試算を行う。これは、次の式に基づくものであり、コーホート方式のAKB総選挙予想と呼ぶべきものである。

メンバーの x 年度の最終得票

= x 年度の速報値 × (x - 1) 年度の倍率 + 誤差
 倍率とは 最終得票 / 速報値 である。「(x - 1) 年度の倍率」を持たないメンバーは、その所属グループや身分等の基準に従って値を指定する。

2011年度について、2010年実績から予想を行ったのが表3の上であり、同じ方式で2012年度について行ったのが下である。速報、予想、最終については順位も併記した。また簡単のため20位までとしている。

これを見れば、昨年の実績の無い横山・渡辺を6倍と指定すれば、予想と最終結果の20位までの顔ぶれが一致していることがわかる。また16位までを見ても同じである。

状況の概観として、人名は無視し順位のみでこの2つの年度を重ねてみれば、図3の通りである (y軸は対数値)。

2012年度の予想はこの方式で64名について行い、5月28日に文化情報学部「定量的データ分析」中間試験において、Rのmatplotlibによるグラフの書き方を出题した。最終結果発表の後にそれを整理して、雑誌『エストレーラ』2012年8月号に掲載した。この場合、高城亜樹が選抜16名に入るかどうかの問題であった。他の予想では殆どが選抜に入れていた。しかし、速報ですでに落ち込んでおり、普通の標準的な6倍の倍率では選抜には及ばないと見込まれ、実際そのとおりとなった。秋元才加は2010,11,12三年共に倍率は1.1倍ほどであり、小嶋陽菜も平均よりは高い倍率を示すクセがある。このように、メンバーのファンはそれぞれの特性がある。もとより変動するにしても、多少の誤差に収まっているということなのである。

3.2 指原莉乃, HKT

先に進む前に、2013年度に1位となった指原莉乃についての理解が必要である。この正しい理解が無いと、感情的に指原を1位にしたいくないという議論や予想の原因となる。

指原莉乃は、AKB所属の以前からアイドルおたくであり、モーニング娘。やBerryz工房などのファンであった。特に後者の高身長アイドル熊井友理奈に送ったファンレターを熊井はいまも保存している。

2007年10月AKB五期オーディション合格。翌11月に15歳となる。大分県出身であり、SKEの矢方美紀と同級であった。2008年8月にチームBに昇格(後にチームAに移動)。五期は指原よりも先にAに昇格していた宮崎、北原がエースであり、指原はそれについて「大声ダイヤモンド」「10年桜」「涙サプライズ!」などの選抜とアンダーガールズに選ばれていた。2009年7月の第一回総選挙では1170票27位で9人のアンダーガールズの一人に選ばれた。しかし、その後TV番組でバンジージャンプが飛ばず(図4右)10月にはそのリベンジでも飛ばなかったため、「へたれ」キャラとして定着する。

2010年6月の第二回総選挙では、19位で選抜となる(当

表3 2011, 12年度の得票数(順位) 予想

2011最終				2011予想		2011速報		10倍率	10最終	10速報
139892	1	前田敦子	2	74140	2	16452	4.51	30851	6846	
122843	2	大島優子	1	85408	1	17156	4.98	31448	6317	
74252	3	柏木由紀	3	62465	3	12056	5.18	15466	2985	
60539	4	篠田麻里子	4	49265	6	8016	6.15	23139	3765	
59118	5	渡辺麻友	6	42337	5	8582	4.93	20088	4072	
52920	6	小嶋陽菜	7	42320	10	6534	6.48	16231	2506	
52790	7	高橋みなみ	5	47337	4	8833	5.36	17787	3319	
50403	8	板野友美	10	35588	8	6596	5.40	20513	3802	
45227	9	指原莉乃	8	40295	7	7357	5.48	6704	1224	
36929	10	松井玲奈	9	39354	9	6559	4.52	12082	2673	
33500	11	宮澤佐江	14	24760	11	5157	4.80	12560	2616	
31009	12	高城亜樹	13	25032	12	5096	4.91	11062	2252	
27957	13	北原里英	15	24733	14	3860	6.41	8836	1379	
27804	14	松井珠理奈	12	25967	16	2843	10.15	12168	1199	
26070	15	峯岸みなみ	11	28327	13	3931	7.21	9692	1345	
22857	16	河西智美	16	24170	15	3102	7.79	11080	1422	
17154	17	秋元才加	17	16838	23	1502	11.21	8049	718	
16574	18	佐藤亜美菜	19	14569	18	2684	5.43	6921	1275	
16455	19	横山由依	18	16518	17	2753	(6)	-	-	
14137	20	増田有華	20	13944	19	2201	6.34	4137	653	

2012最終				2012予想		2012速報		11倍率	11最終	11速報
108837	1	大島優子	1	108071	1	15093	7.16	122843	17156	
72574	2	渡辺麻友	2	78041	3	11329	6.89	59118	8582	
71076	3	柏木由紀	3	77935	2	12654	6.16	74252	12056	
67339	4	指原莉乃	6	57399	4	9337	6.15	45227	7357	
67017	5	篠田麻里子	5	65093	6	8619	7.55	60539	8016	
65480	6	高橋みなみ	7	53519	5	8955	5.98	52790	8833	
54483	7	小嶋陽菜	10	43201	11	5334	8.10	52920	6534	
50483	8	板野友美	9	50395	9	6595	7.64	50403	6596	
45747	9	松井珠理奈	4	68610	8	7795	9.78	27804	2843	
42030	10	松井玲奈	8	50760	7	8460	5.63	36929	6559	
40261	11	宮澤佐江	11	40795	10	6280	6.50	33500	5157	
27005	12	河西智美	16	23778	17	3227	7.37	22857	3102	
26531	13	北原里英	15	23916	16	3302	7.24	27957	3860	
26038	14	峯岸みなみ	13	22522	15	3396	6.63	26070	3931	
25541	15	横山由依	12	25708	12	4301	5.98	16455	2753	
24522	16	梅田彩佳	14	28675	14	3484	8.23	11860	1441	
23083	17	高城亜樹	17	22277	13	3661	6.08	31009	5096	
23020	18	山本彩	19	19308	18	3218	6.02	8697	1444	
19159	19	渡辺美優紀	20	17856	19	2976	(6)	-	854	
19121	20	秋元才加	18	19906	32	1743	11.42	17154	1502	

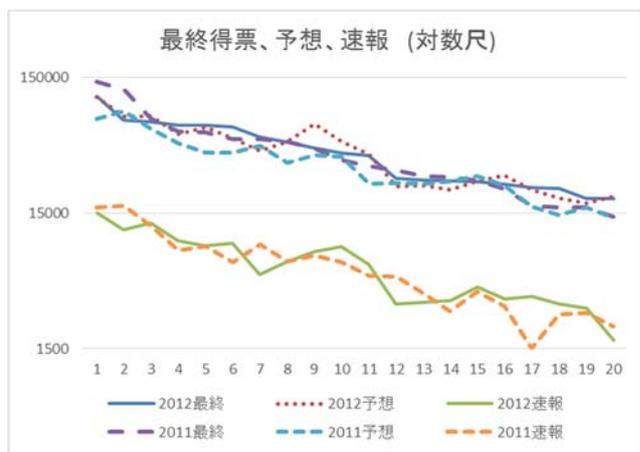


図3 総選挙 速報・最終得票 と 予想

時は21位まで選抜)。109の円筒広告に2日間出たり、オリコン1位かつ累積ミリオンとなる10月の18thシングルBeginnerではフロントメンバーに選ばれる。

2011年1月にはユニットNot yetのメンバーと成り、冠番組「さしこのくせに」が始まる。6月の第三回総選挙では9位に躍進する。この7月には後に所属することになるHKTが結成されている。

2012年1月には、ファーストフォトブック(講談社。写真に加え活字部分も相当ある)が出た(図4)。その帯には

AKB48 とは指原莉乃の奇跡のことである -秋元康
 とある。ちなみに他のフォトブックのキャッチは
 AKB48 とは高橋みなみのことである -秋元康
 AKB48 とは大島優子の一生懸命さのことである-秋元康
 AKB48 とは前田敦子の未来のことである -秋元康
 このフォトブックは初週 5.7 万部を売りあげており、大島の
 フォトブックやまゆゆの写真集の売上を期間補正しても
 なおそれらを上回ると見積もられている。この2月8日には
 TV 番組で「怪物アイドル」という紹介をされている。
 5月には1st ソロアルバム「それでも好きだよ」を出す
 が、これは乃木坂 46 の2nd シングル「おいでシャンプー」と
 同時発売で売上を競うというものであった。結果は初日、初
 週ともに乃木坂に敗れることとなった。しかし、初週で12.4
 万枚を売り上げたことは、対立構図の場合にこの程度が見
 積もれるという目安となるので重要である。さらにはこの
 数値には劇場盤作成の不都合があってその1.2万枚が含ま
 れていない。つまり、13.6万の潜在能力を持つと見て良い。

そして、6月の第四回総選挙では67339票を得て4位と
 なる。しかし、直後の14日『週刊文春』に指原の過去の男
 性関係についての記事が掲載される。翌日深夜のラジオ番
 組で秋元プロデューサーからHKTへの移籍を命ぜられる。

AKBグループのメンバーには、しばしば「オタ」「ヲタ」
 と呼ばれる通常のファンとともに、「アンチ」と呼ばれる、
 批判的な立場から見守る(反)ファンが居る。中心的な立
 場になる前田敦子、松井珠理奈などは特にアンチが多いこ
 とで知られていた。指原のアンチとして著名なのは漫画家
 の小林よしのりであり、この8月に出版された本の中では、
 前田との対比としてではあるが、指原を「墮天使ルシファ
 ー」としている。最近では単純に「悪魔」とした例がある。

10月には2nd シングルを出し、初週6.8万枚となった。
 ただしこの曲はアンリレ(入山杏奈, 川栄李奈, 加藤玲奈)
 との4人であり、アンリレはダンスのみだが全体のセンタ
 ーは川栄であるという奇妙な曲であった。それよりも重要
 なのは、同月から2013年3月まで続いた、日本テレビの番
 組「HaKaTa 百貨店(同2)」であり、MCを務め、HKTの
 メンバーの魅力を紹介し、HKTの躍進に大きく寄与した。

HKT 関連 TV 番組には2013年1月には「HKTのお出かけ」
 , また乃木坂とのタイアップにより7月から始まった
 「トンコツ魔法少女学院」があり、いずれにも指原がコメ
 ンテータやMCとして出演している。3月にはHKT1stシ
 ングルが初週25万枚となる。さらには4月には組織替えて
 指原はHKT48劇場支配人を兼任することとなった。

第五回総選挙の速報では、28516票という驚異的票数で
 一位となった。2位の渡辺麻友のダブルスコアであった。
 それから6月8日の本発表までは、指原が何位となるかが
 とかく話題となった。しかし、1位を保つという意見は至
 って少数意見であり、AKB 関連評論家では濱野智史のみで
 あった。一般的には、大島と渡辺の首位争い、柏木の位置



図4 (左) フォトブック表紙 (右) 同書内バンジー記事



図5 公式ガイドブック(講談社)2013年と2012年表紙



図6 (左) 2013 ガイドブック「波乱を起こす」4人、渡辺・
 大島・島崎・指原 (右) AKB 新聞2013年6月号
 などが問題となっていた。実際、公式ガイドブックの表紙
 もそれを煽るようなものであった(図5左)。最終的にはこ
 れまでの前田や大島の得票数を超える150570票を獲得し、
 大島の追い上げを許さなかった。速報2位の渡辺は最終3
 位にとどまった。

先にみたように、対立構図になれば指原の潜在獲得能力
 としては13万票以上が見積もれる。それを考えれば、1
 位の可能性は本来大変高い。実際それ以上となったが、大
 島の追い上げ票数も同程度であり、初動の差を保つような
 形の勝利であった。

3.3 先行研究から直近まで

ブログ上で総選挙の順位を予測する試みはいろいろ行われていた。「総選挙分析ライター」と称する方もある[2].

中でも日経デジタルマーケティングの小林直樹記者は、すでに2011年には「AKB48「神9」を“予言”していたブログロコミ件数」という記事を発表し[3], ホットリンク社が発表した、クチコミ件数にかかるプレスリリース[4]に注目していた。上位9名の顔ぶれが一致するのである。

2011年1月には同志社大学文化情報学部三期生の徳本は「ブームの数理モデル」と題する卒業研究を行った。ブームの発生とピーク、衰退と安定を微分方程式で記述するものであり、それ自身がすでに先行研究を持つ。徳本は其中で、当時の「上からマリコ」までのシングル売上データに“ブームを記述する関数”をフィッティングし、あと9作ほどで安定期に入ると予測した。しかし、図2からわかる通り、「上からマリコ」の後は再度上り調子となり、その後一旦下るが、また今回上り調子となってきた。よって、なかなか難しいものであることがわかる。

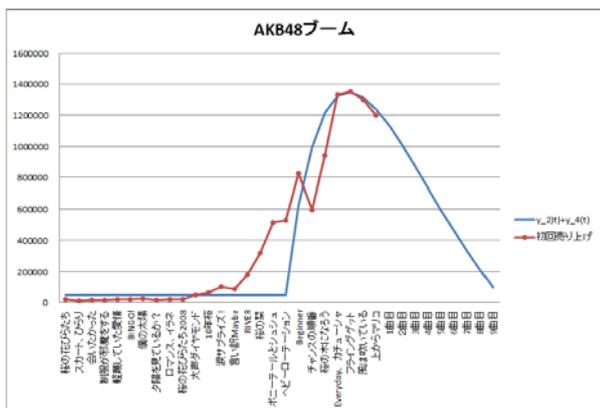


図7 徳本によるAKB48ブームのフィッティング

2012年の総選挙では、小林直樹記者はルグラン社によるモデル当てはめの結果を紹介した。「ビッグデータ予測が16人中15人的中」[5]. ルグラン社は早くに予想を行い、開票の直前に経過データで修正した予測を発表していた[6]. そこで使われたのはデータ提供会社による有償のデータを用いて検討されたモデルである。

- (1) Twitter・ブログ・掲示板における出現頻度や評判(データ提供: ホットリンク「クチコミ@係長」)
- (2) テレビ番組やCMへの出現頻度と報道時間およびその内容(同: 株式会社エム・データ)
- (3) AKB48などの公式サイトやGoogle+の各メンバーページへのアクセス数やユーザー数・属性データ(株式会社ビデオリサーチインタラクティブのインターネット視聴データ"Web PAC2"を利用)

実際には(3)のデータは独自性・不安定性が強いため使用せず、線形回帰モデルとして(1, 2)を用いて、

得票数

$$= \text{ブログクチコミ件数} \times 2.75 + \text{CM 登場分数} \times 4.47$$

としている。これに、前田敦子の2011年度の得票がどう分散するかを推定し、また直前の情勢を補正して用いている。

筆者は、先の表3上の2011を根拠とし、表3下の64人のversionを予想として5月28日に学生に提示し、開票後に『エストレーラ』に発表した[7].

2013年はルグラン社は特になにも表明していない。今年度の上記回帰式の当否チェックは有償データが必要である。

小林記者は、筆者の方式を「速報値と見込み伸び率から上位16人を探るデータで予測する第五回AKB選抜総選挙」として紹介された[8]. また発表後には「1位指原〜3位渡辺は的中も、選抜16人予想が1人ハズレた訳——データで予測するAKB総選挙「反省会」として総括された[9]. ヒットの法則を適用するという研究もある[10].

3.4 モデル設定

筆者の採用したモデルの式はすでに3.1に記載した。今年度は劇場盤に投票権が付いたことが最も重要な変更点であったが、動きが異なるとしても上位陣についてはシステムは頑健であるとみなして、同じ式を用いた。また前述したように、指原の倍数を故意に減らすことは行わなかった(昨年の倍数では多すぎることは尤もではあるのだが)。

モデルに関する詳細、また上位3人がなぜ順位まで含めて当たったか、といったことは講演において詳述したい。また、Google+, mixi等の有用性についても触れる。

謝辞 『エストレーラ』のような統計の専門誌までも渉猟されて筆者の2012年の記事を認められた、小林直樹記者に感謝申し上げる。

参考文献

- 1) 仲谷明香(2012.4)『非選抜アイドル』小学館
- 2) 例えば下記アドレス参照
<http://blog.goo.ne.jp/tedpapa/e/2df09116edb8f6269292c16ff2a23b29>
- 3) 6月17日付
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/nmgp/20110616/220833/>
- 4) 株式会社ホットリンク, 5月27日
<http://www.hottolink.co.jp/press/938>
- 5) 日経デジタルマーケティング 6月7日
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/nmgp/20120607/233038>
- 6) LeGrand社ブログ ilovedata 6月4日
<http://www.ilovedata.jp/2012/06/04/直近予測-データで予測する2012年akb48選抜総選挙/>
- 7) 『エストレーラ』2012年8月号, pp46-51. フリーソフトによるデータ解析・マイニング 第108回 AKBグループ総選挙—SKE 体力測定—
- 8) 日経デジタルマーケティング 6月6日
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/nmgp/20130605/249216/>
- 9) 日経デジタルマーケティング 6月10日
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/nmgp/20130609/249369/>
- 10) 2012, 2013年は異なる方法であろうか。2つめの7月6日は、AKB48総選挙をテーマとした発表である。
<http://www.ohtabooks.com/qjkettle/news/2012/09/20092701.html>
<http://stonewell.blog.so-net.ne.jp/archive/c2301283594-1>
<http://avalon-consultants.com/?p=176>

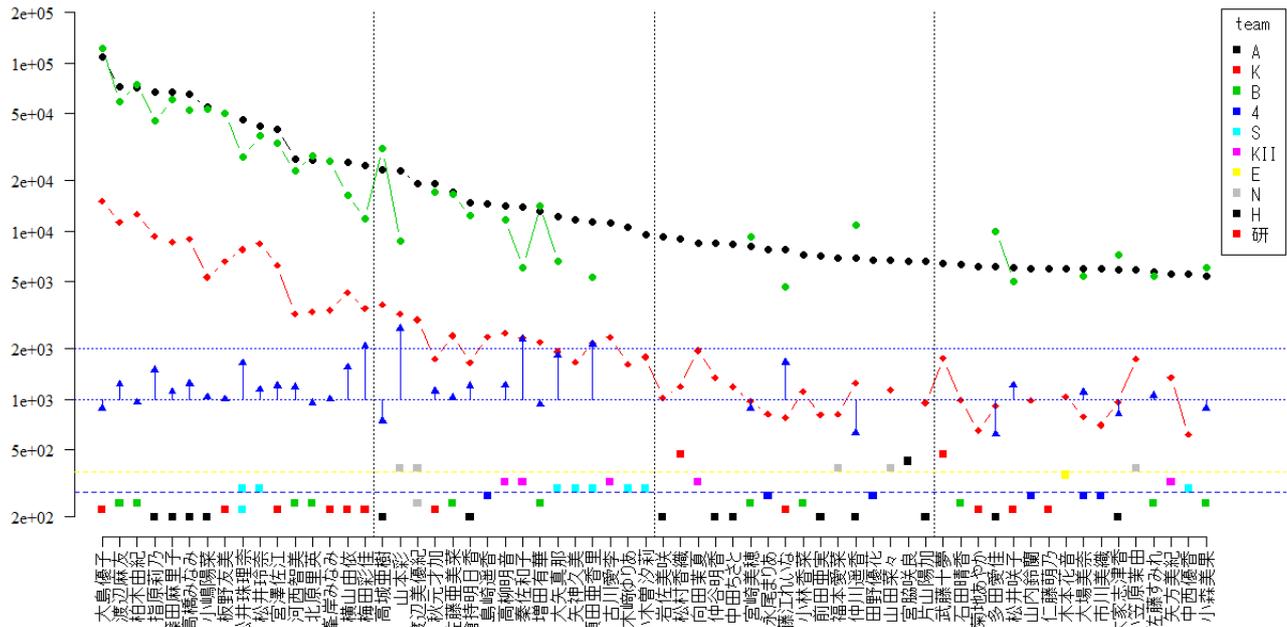
2012年第四回選抜総選挙と2013年第五回の票数の様子を概観するグラフを付す。詳細説明は当日行う。

2012年は、2011年とほぼ同じ程度の票数であるが、上層部は大島・柏木以外は若干増加している。2倍以上になったのは、青の↑先端が上の点線をでている、梅田、山本(NMB)、秦(SKE)、須田(SKE)である。なお当選者は、2011年は40人、2012年は64人であったため、2012年では前年のデータのないメンバーが多い。下部の■は所属チームを表示する。

2013年は、高橋みなみは昨年並み(峯岸擁護の影響か)だが、2倍を超えるメンバーは多く、4倍近いのが、島崎、須田(SKE)、宮脇(HKT)、山田(NMB)、木本(SKE)である。これでは、須田は2年間躍進して選抜に入ったといえる。

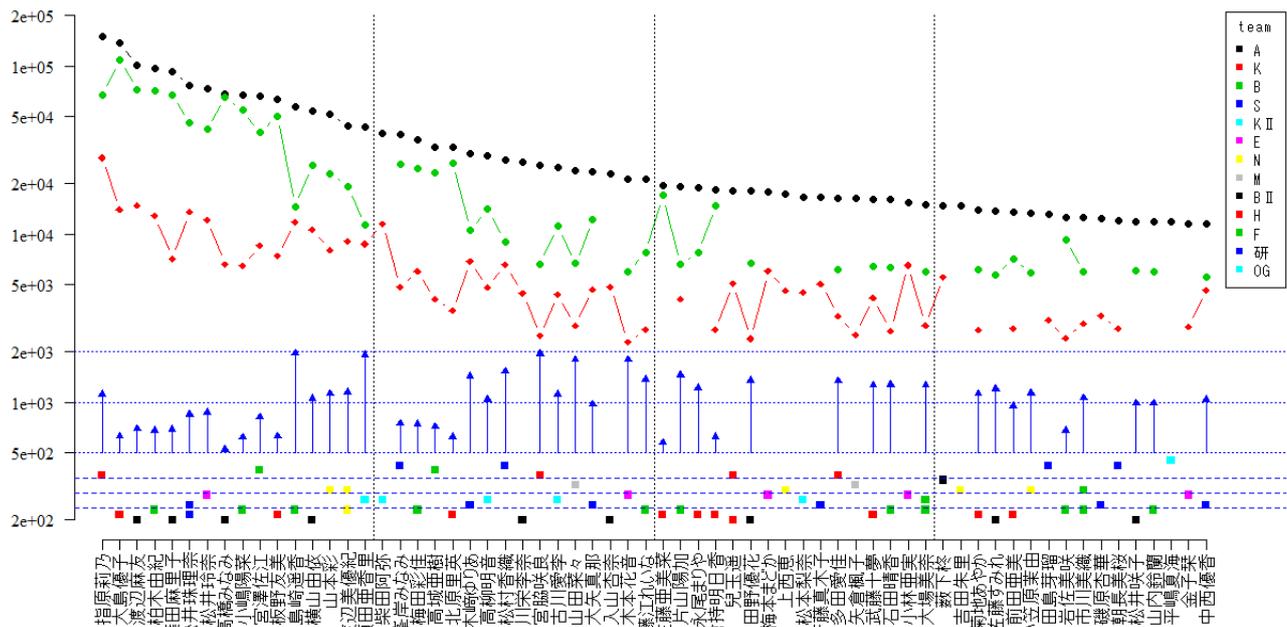
いずれもy軸は対数尺としている。これにより、2012年の大島、2013年の指原・大島が全体のトレンドよりも上にいることがわかる。2012年に前年の得票を割り込んだのは、大島、柏木、北原、増田、宮崎、大家、小森と、かなり割り込んだ、高城、仲川、多田であり、後者3人は新天地を求めた。増田、小森は卒業し、宮崎、大家は2013で圏外となった。

黒●: 27th、赤◆: 27th速報、緑●: 22nd、▲: ratio 27th/22nd. 研究生 SKE 松村、AKB 武藤



付図1 2012年 票数分布

黒●: 32nd、赤◆: 32th速報、緑●: 27th、▲: ratio 32nd/27th. 研究生 AKB 峯岸、SKE 松村、HKT 田島、朝長



付図2 2013年 票数分布

付表 AKB vs CIS Doshisha

		AKBグループ & 乃木坂	指原莉乃	同志社大学文化情報学部
		「会いに行けるアイドル」 AKB劇場 秋葉原ドンキホーテ8F 秋元康 総合プロデューサー	「さしこ」「さっしー」 大分県 矢方美紀同 小野晴香 兄の同級	「データサイエンスで文化を学ぶ」 京田辺キャンパス 夢告館 設立時 八田英二学長
年	月			月
2005	7	「秋葉原48プロジェクト」第1期生メンバー募集		4
AKB	10	AKB 合格24名 夏まゆみ 指導		初代学部長 村上征勝 (元統計数理研究所) その他、教員初期メンバー 赴任
	12	8日 劇場オープン 公演 前田・高橋・峯岸等 A1st		
2006	2	二期生 19名 大島・秋元・小林・梅田・宮沢・河西等 K		4
	4	A2nd 会いたかった <前田敦子 センター>		1.5期 狩野博幸教授、波多野賢治准教授 定量的データ分析・同演習 開始
	10	1st single 会いたかった		
	12	三期生 20名→13名 柏木、渡辺、片山、菊地等 B		
2007	8	映画『伝染歌』前田・大島・秋元・小嶋・河西・峯岸...		4
	10	五期生 12名 指原・北原・宮崎・仁藤・中西・大家等	五期合格	大学院 文化情報学研究所 前期・後期同時設置 委員会選抜にて大学院担当決定 (夕方劇場で公演チケットが買えた) (←チケットは売れ残りが出る。3回からは抽選)
	12	紅白歌合戦「アキバ枠」で短時間出場 43人	11.21 15歳	
2008	1	第一回 リクエストアワーセレクトベスト100		
		地上波初冠番組『AKB1じ59ふん!』(→AKBINGO!)		
	2	研究生 佐伯美香 昇格 B (研究生初昇格)		4
	5	映画『ひぐらしのなく頃に』小野恵令奈 出演	7.13 宮崎昇格 A	一期生 卒業研究始まる
SKE	7	SKE48 一期生22名 牧野アンナ 指導	7.30 北原昇格 A	二期生Yは、某所で横山由依と一緒にアルバイト (11月 篠田麻里子『MORE』専属モデル)
	8	15日 B 菊地彩香(現・あやか 7期生) AKB解雇	8.2 指原昇格 B	11
	10	SKE48 オープニング 松井珠理奈(小6)センター		四回生のAKBファンはまだ冷たい視線を浴びる (←「AKBの存在を全国に知らしめる最初の曲」)
2009	1	B 早乙女美樹 謎の 研究生降格	初選抜	3
	7	13thシングル選抜総選挙 30/98 前田 4630	11th10年桜 選抜	学生論文選抜で論文集発行
		八期生 研究生 西川夏海解雇 (→乃木坂二期)	27位 アンダーガール	一期生 卒業式、博士前期課程 修了式
	8	日本武道館『AKB104選抜メンバー組閣祭り』	1170票	4
SDN		SDN48 一期生21名	北原13位、宮崎18位	教員2期 大森准教授 定量担当 (←秋ごろから、公演の抽選倍率が上がった)
	12	八期生 研究生 10人 セレクション落ち	10.16 バンジー再失敗	(9月 9期生オーディションで横山由依合格) (←2010.10 佐野友里子 セレクション落 8期消滅)
		紅白歌合戦出場	12th涙サプライズ選抜	(←2010.5 16th「盗まれた唇」アンダー)
2010	6	17thシングル選抜総選挙 40/104 大島 31448	19位 選抜	3
	9	19thシングル選抜じゃんけん大会 内田	6704票/380000	博士号初授与 藤本悠(現・奈良大学講師)
NMB	10	NMB48 一期生26名 akira 指導	↓3500万page view	7 津村准教授 不正行為により、定量授業・演習解任
	12	SKE 鬼頭・井口・内山・斉藤 研究生降格	ブログ1位への挑戦 *	9 博士後期課程院生竹原 ミニスカート着用 (音楽教室で、AKB峯岸似と言われたので) (←2010.10 18th Beginner 選抜 フロントメンバー)
		紅白歌合戦出場 130人	2011.1 Not yet結成	(一冠番組「さしこのくせに」2011.1~9月放送)
2011	6	22ndシングル選抜総選挙 40/150 前田 139892	9位 Media選抜 & 109	二期生Yは、新宿某店で客 前田・篠田 を見る
		team 4 発足 大場 島田 島崎 etc. (5.5武藤前座devu)	45227票/1166145	6 「AKB48」神9を“予言”していたブログクオミ件数 (日経デジタルマーケティング 小林直樹記者) 院生竹原は順次NMBに傾斜
HKT	7	HKT48 一期生24名→21名	5月ブログ200回更新	
乃木坂	8	NMB48 1st 絶絶黒髪少女 初週21.8万枚		
	9	乃木坂46 一期生36名 from 38934 南流石指導		
		team 4 大場 謹慎、NMB 島田・松田 謹慎		
		24thシングル選抜じゃんけん大会 麻里子様		
JKT	11	JKT48 28 (ジャカルタ)		10 矢野 転子部骨折にて入院 AKBを色々調べる (藤本氏から拝借した WiFi unit を病室で使用)
	12	AKB48 on Google+(ぐぐたす) 開始		
		レコード大賞		
		紅白歌合戦出場 210人	(「まゆゆ」4.5万部)	(大島1stフォトブック 4.1万部 集計日数相違だが) (←但し、写真集なので比較には不適當でもある)
2012	1	平嶋夏海、米沢瑠美 AKB辞退、大場復帰	1stPB 初週 5.7万部	1 大田靖助教指導、徳本卒業「ブームの数理モデル」 学生論文集は、ポスター選抜に変更
		NMB 島田・松田 復帰	2.8「怪物アイドル」	3 院生竹野 博士号取得
	3	前田敦子卒業宣言、SDN48 解散	『ミュージズの鏡』主演	2011までの総選挙のことを定量演習材料に採用 (←初日 11.1 vs 5.7 をここまで盛り返した)
	4	仲谷明香著『非選抜アイドル』(小学館)	大分市観光大使	5 AKB総選挙票数予測を中間試験問題に出す
	5	指原 1st シングル「それでも好きだよ」	初週 12.4万枚 負	6 「ビッグデータ予測が16人中15人的中」(小林記者) (ルグラン社による一種の回帰モデル)
		乃木坂46 2nd おいでシャンプー 初週15.6万枚	↑劇場版1.2万 外数	7 定量演習受講者に、下記の原稿を含む冊子配布
	6	27thシングル選抜総選挙 64/237 大島 108837	67339票 4位 選抜	8 エストレーラ8月号 矢野 AKB総選挙の記事 (原稿6月。後に小林記者がこの記事に気づく) (←8.25『AKB白熱論争』にて 小林よしのり) (HKT補助 9.24は 柴田阿弥、阿比留李帆)
		研究生 武藤十夢 Future Girls センター 「期待値」	投票総数 1384122	
	8	『週刊文春』指原の過去の記事を掲載	15日 HKT移籍	
		HKT 菅本等5人 辞退、SKE 鬼頭等4名再昇格	6月25日 ゆびまつり	
		AKB48 in TOKYO DOME -1830mの道-		
	9	team 4 解体 AKB 3チーム制に復帰(10月~)	「墮天使ルシファー」	
		29thシングル選抜じゃんけん大会 島崎遥香		
	10	日本テレビ HaKaTa百貨店(同 2) 放送 - 2013.3.30	指原MC	
		指原 2nd シングル「意気地なしマスカレード」	初日/週 2.8/6.8万枚	(←但し、センター位置はアンリレの川栄李奈)
SNH		SNH48 26 from 38066 (上海)	前田の「君と僕」は、	
	11	増田有華 AKB48 活動辞退	初日/週 6.6/13.6万枚	* 2010.12 指原をセンターにするという計画を... ** 2012.6.11 なるべくセンターら辺を目指して...
	12	レコード大賞 又 元AKB 小野恵令奈 新人賞		
		紅白歌合戦 AKB 170人、SKE 62人		
2013	2	峯岸みなみ AKB 研究生に降格 高橋は擁護		3 院生竹原、松森 博士号取得
	3	HKT48 1st スキ! スキ! スキップ! 初週25万枚	←田島芽瑠センター	(←5.29 BKA48 ハステとフステ 選抜)
	4	27 HKT 武道館単独ライブ 28 組織替え発表	HKT支配人兼任	5 鳥取大学 石井教授 ヒットの法則を 総選挙に適用
	5	総選挙 速報発表	28516票 一位	6 「データで予測する第5回AKB48選抜総選挙」(小林)
	6	32ndシングル選抜総選挙 64/246 指原	150570票 一位	
		曲名:恋するフォーチュンクッキー	投票総数 2646847	
		篠田麻里子卒業宣言 柴田阿弥 17位(速報8位)		(HKT 1.25~「HKTのお出掛け」 studio 指原・後藤)
		JKT レナ・ノゾワ(野澤玲奈) AKB 兼任		7 (HKT 7.2~「トンコツ魔法少女学院」 MC指原) (大島優子 総務省統計局 広報タレント就任) (←AKB映像センターのビデオ内で断髪を行う) (HKT 7.27,28 Tokyo Idol Festival 28日に出演)
		NMB48 7th ぼくらのユリイカ 初週 48.2万枚		
		阿部マリア、ファッション誌『Soup』のレギュラーモデル		
		メロパン同盟(2010.6.5結成:松井R,島崎)解散	7.3「悪魔」(よしのり)	
	9	18日 34thシングル選抜じゃんけん大会	4日 HKT 2nd single	8 情報処理学会 じんもんこん東京例会 矢野:AKB

